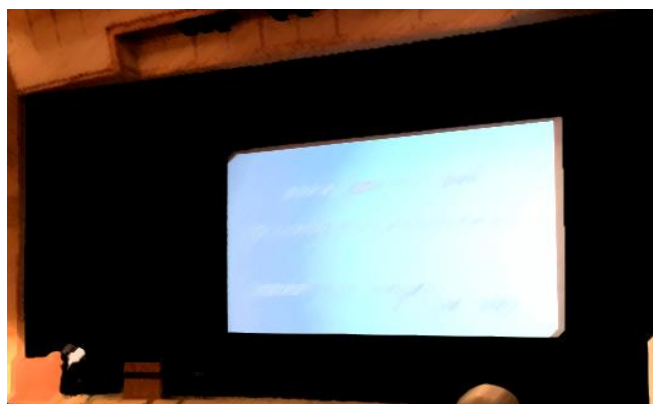


令和5年9月15日（金）岳陽アカデミー講演会**岳陽アカデミー講演会**

大町市文化会館にて、本校卒業し、現在弁護士の先生を講師としお招きし、「新しい未来をデザインするということ」をテーマとしてご講演いただきました。

予測不可能な時代において、これからの社会をどう捉えて、どのように自分でデザインして生きていくのか、生徒たちは自らの将来について真剣に話を聞いていました。

講演後、生徒たちは講演を聞いてのふり返りを記入しました。

生徒たちは、今の自分は自らの人生をデザインすることができているか、デザインするとはどのようなことかなどを自身の経験やこれからの進路について思いを巡らせながら記していました。

講演の中で最も興味を持ったことについて生徒たちは、

- ・「日本がこの先良くなるかという質問に対して分からないと答えた人が多いということや、考えていない人が多いという話を聞いて、これから先を考えて行くには一つ一つのことに興味を持ち、自分から調べ、自分の考えを持ち、行動していくことが大切だと思った。」
- ・「ただ〇〇になりたいだけでなく、自分の持つ価値観を軸にどうしてそうなりたいたのかを明確に話せることが大事なんだなということを知り、今私のなりたい職業から考えられることを書き出してみようと思った。私のなりたい職業はもしその職に就いたらどうしていくかという理由が明確に出せないから、今回の講演で考えられるきっかけを貰えたから。」
- ・「自分の価値観を知ること。最近人間関係などで合わないなと感じる事があって、“自分はこれが嫌なんだ”と自分を見つめる事でより生きやすくなったと感じたから。今回の講演で更に自分の価値観は何なのかをしっかりと考えたいと思った。」

感じたり考えたりしたことについては、

- ・「自分の価値観も他人の価値観も全部が思い通りになる訳じゃないけど、その価値観の数だけ様々な考え方があると思ったので、わたしも周りにとらわれず自分の価値観を大事にしたいと思いました。」
- ・「夢を持つことは誰でも出来るけど、その先どうするかは自身の決断によって決まることを強く認識した。決断する力、共鳴させる力、説得させる力、分析する力。色んな力を培っていきいたいと思った。」
- ・「夢を考えたことはあったけど自分の価値観について深く追求したことはなかったので新鮮だった。」

という声がありました。

生徒一人一人が、自分の人生と社会を結び付け、また、これから先どのような力が求められていて、自分とどのように向き合っていくのか、それを考える大切な時間になりました。